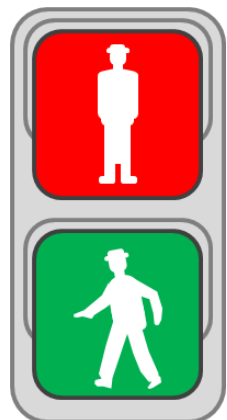


ごにゅうえん・ごしんきゅう
おめでとうございます



しんごうの おやくそくを おぼえましょう



あか とまって まちます

**みぎ・ひだり・みぎをみて
くるまが とまっていたら
てを あげて わたいます**

あお

～おうちのかたへ～

大人が子供のお手本になりましょう

子供は大人の行動をよく見ています。交通ルールやマナーを守り、良いお手本を見せるようにしましょう。道路を横断するときは信号を守って、横断歩道を渡ることを教えましょう。歩道を歩くときはお子さんと手をつないで大人が車道側を歩きましょう。歩道がない道路では、右側を歩くことを教えましょう。

交通安全は
家庭から



子供から目を離さない



子供の事故原因で多いのが「飛び出し」です。子供は興味があると、そのことに夢中になり、周囲の状況が目に入らなくなり、危険なことの判断ができなくなります。また、子供の交通事故の多くが自宅から半径500m以内で発生しています。駐車場からお店に向かう時、保育園・幼稚園の送迎時、帰宅時に子供を降車させた直後などは、子供から目を離さないで下さい。

春の全国交通安全運動

運動期間

平成30年4月6日(金)～4月15日(日)

スローガン

《手を挙げて 車にアピール「渡ります！」》

運動の重点

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ② 自転車の安全利用の促進
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶
- ⑤ 「シェア・ザ・ロード」の精神の普及促進と自転車乗車用ヘルメットの着用促進

